黒東地域農業技術者協議会

大豆特報

今後の気象は高温・少雨が予想されます。大豆は開花期を迎えます。積極的に畦間かん水を行い、落花や落莢を防ぎ、しっかり収量・品質を確保しましょう。

1 病害虫防除 (えんれいのそら、シュウレイ)

【基本防除】病害虫の発生状況や大豆の生育にあわせて、適期に実施しましょう。

防除時期		1回目(8月6日~11日頃) 莢伸長期	2回(8月20日~25日頃) 子実肥大期		
対象病害虫		紫斑病、食葉害虫、カメムシ類			
粉剤体系	薬剤名	トライトレボン粉剤DL	トライトレボン粉剤DL		
	10a当たり 散布量	3kg(収穫14日前まで)	3kg(収穫14日前まで)		
液剤体系(ラジヘリ防除を除く)	薬剤名	プランダム乳剤25+スタークル液剤10	トライフロアブル+トレボンEW		
	10a当たり 散布量	3,000~5,000倍/100~300l (開花後~収穫7日前まで) + 1,000倍/100~300l (収穫7日前まで)	1,000倍/100~300l (収穫14日前まで) + 1,000倍/100~300l (収穫14日前まで)		

- ・風が穏やかな時に散布し、周辺へ飛散しないように注意しましょう。
- ・ラジヘリによる基本防除は、1回目が8月5日~7日頃、2回目が8月19日~21日頃です。
- ※オオツルの防除は、えんれいのそらやシュウレイより、散布時期が1週間程度遅くなります。

【**随時防除**】 高温少雨傾向のためハダニの発生に注意し、発見次第、速やかに防除しましょう。

対象病害虫	防除時期	薬剤名	10a当たり散布量	使用回数	
ハダニ類	8月上旬~ 9月上旬	マラソン粉剤3	3kg (収穫7日前まで)	粉剤、乳剤 あわせて 3回以内	
コガネムシ類	7月	マラソン乳剤	2,000倍/100~3000 (収穫7日前まで)		
	7月下旬~ 8月上旬	ダントツH粉剤DL	4kg (収穫7日前まで)	3回以内	
ウコンメイガ (ハマキムシ)		プレバソンフロアブル5	4,000倍/100~300L (収穫7日前まで)	2回以中	
		フレハフフフロアフルも	16~32倍/0.80:無人航空機 (収穫7日前まで)	2回以内	
ハスモンヨトウ アブラムシ類	8月上旬~下旬	トレボン粉剤DL	4kg (収穫14日前まで)	2回以内	
カメムシ類 フタスジヒメハムシ	9月上旬	スタークル液剤10	1,000倍/100~3000 (収穫7日前まで)	3回17h	
ダイズサヤタマバエ		ペター//ル/ 及月110	8倍/0.80:無人航空機 (収穫7日前まで)	一 2回以内	
莽体库	7月下旬	Zボルドー※	500倍/100~3000	_	
葉焼病		フェスティバルC水和剤※	600倍/100~3000 (収穫7日前まで)	3回以内	





上:ハダニによる被害 下:ハダニ

【裏面あり】

※ZボルドーやフェスティバルC水和剤は周辺水稲(特に種子)に飛散しないように注意してください。

2. 雑草対策 ~雑草の種子ができる前に除草を徹底しましょう~

- ・非選択性除草剤は、大豆や周辺作物にかからないよう十分注意して下さい。
- ・風が穏やかな時に散布し、周辺へ飛散しないように注意しましょう。

対象雑草	除草剤名	10a当たり薬量 (希釈水量)	使用 回数	使用方法	使用時期
イネ科 雑草	ポルトフロアブル	200∼300mℓ	2回以内	全面散布	イネ科雑草3~10葉期 (スズメノカタビラを除く)
	ハルトンロノンル	(50~100l)	2回从内		但し、収穫30日前まで
広葉 雑草	大豆バサグラン液剤	300∼500mℓ (100ℓ)]	畦間処理 ※2	大豆生育期 (雑草の生育初期〜6葉期) 但し、収穫45日前まで
	※ 1	100~150ml (100l)	1回	全面散布	大豆2葉期~ <u>開花前</u> (雑草の生育初期~6葉期) 但し、収穫45日前まで
一年生	バスタ液剤	300∼500mℓ	バスタと ザクサを	畦間処理 ※2	雑草生育期 但し、収穫28日前まで
		(100~150l)			
	ザクサ液剤	300∼500mℓ	あわせて 3 回以内	畦間処理 ※2	雑草生育期 但し、収穫28日前まで
	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	(100~150l)			

- ※1大豆バサグラン液剤は、使用時期の違いにより「10a当たり薬量」や「散布方法(畦間処理・ 全面散布)」が異なるので、散布前に確認しましょう。
- ※2畦間処理は、つり下げノズルを使用し、大豆の本葉にかからないよう注意しましょう。

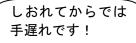
3. 畦間かん水 ~落花・落莢を回避し、青立ち予防のため畦間かん水を実施しましょう~

- ○<u>開花期頃から9月上旬まで、晴天日が3日以上</u> 続いたら、降雨に頼らず積極的に畦間かん水を 行って下さい。
- ○畦間かん水は、短時間で行い、<u>ほ場全体に水が</u> 行き渡ったら、速やかに落水しましょう。

4. 熱中症対策について 農作業中の熱中症予防のポイント

- ○日中の気温の高い時間帯を外し、作業を 行いましょう。
- ○帽子・熱を逃しやすい衣服の着用や保冷 剤等により体を冷やしましょう。
- ○のどが渇く前に、こまめに水分・塩分を 補給しましょう。

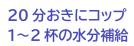
大豆の葉が裏返 る前に畦間かん 水しましょう!













熱中症対策アイテム を活用

○作業はできるだけ複数で行い、時間を決めて体調確認を行いましょう。